

秋田市教育委員会
平成27年3月定例会
(資料)

【資料目次】

付議案件

議案第4号 秋田市立御所野学院中学校、高等学校管理規則の
一部を改正する件

- ・ 改正理由 … 1
- ・ 新旧対照表 … 2

議案第5号 秋田市指定文化財の指定に関する件

- ・ 秋田市指定文化財の指定について … 5
- ・ 「秋田城跡SG463沼地跡出土祭祀遺物」について … 6
- ・ 秋田城跡SG463沼地跡出土祭祀遺物 一覧表 … 8
- ・ 秋田城跡SG463沼地跡出土祭祀遺物に関わる図面・写真 … 10
- ・ 「待入堤の水草群落」について … 17
- ・ 待入堤の植物相リスト … 19
- ・ 待入堤の図面・写真 … 20

秋田市立御所野学院中学校、高等学校管理規則の一部改正

第1 改正理由

御所野学院高等学校で編成する教育課程の基準を改めるため、改正しようとするものである。

第2 改正要旨

1 別表第2関係

御所野学院高等学校における各教科の年間標準単位数等を改めるもの

2 附則関係

施行は、平成27年4月1日からとするもの

秋田市立御所野学院中学校、高等学校管理規則新旧対照表

改正案		現行				
第1条～別表第1 (略)		第1条～別表第1 (略)				
別表第2 (第6条関係)		別表第2 (第6条関係)				
高等学校の各教科・科目および標準単位数		高等学校の各教科・科目および標準単位数				
教科等	標準単位数	1年	2年	3年	備考	
国語	4	5				
国語総合	4					
現代文B	4		2～3	2～3		
古典B	4		3	2～3		
国語表現	3			②		
地理歴史						
世界史A	2			2		
世界史B	4		④	③～④		
日本史B	4		④	③～④		
地理B	4		④	3		
現代社会	2	2		②		
数学I	3	3				
数学II	4	1	4	③		
数学III	5			⑤		
数学A	2	2				
公民						
現代社会	2	2		②		
数学I	3	3				
数学II	4	1	4	③		
数学III	5			⑤		
数学A	2	2				
国語						
国語総合	4	5				
現代文	4			2～3		
現代文B	4		2～3			
古典	4			2～3		
古典B	4		3			
国語表現II	2			②		
世界史A	2			②		
世界史B	4		④	③～④		
日本史A	2			②		
日本史B	4		④	③～④		
地理A	2			②		
地理B	4		④	③～④		
現代社会	2	2		②		
数学I	3	3				
数学II	4	1	4	③		
数学III	5			⑤		
数学A	2	2				

理科	数学B	2	2	2	②
	物理基礎	2	③		
	物理	4			④
	化学基礎	2	2		②
	化学	4	2	④	④
	生物基礎	2	③		
	生物	4			④
	地学基礎	2	2		
	学校設定科目（化学演習）	2			②
保健体育	体育	7～8	3	2	2
	保健	2	1	1	
芸術	音楽I	2	①	①	
	音楽II	2			②
	美術I	2	①	①	
	美術II	2			②
	書道I	2	①	①	
外国語	コミュニケーション英語I	3	③		
	コミュニケーション英語II	4	①	4	
	コミュニケーション英語III	4			④

理科	数学B	2	2	2	②
	物理基礎	2	③		
	物理	4			④
	化学基礎	2	2	③	②
	化学	4			④
	生物基礎	2	③		
	生物	4			④
	地学基礎	2	2		
	学校設定科目（化学演習）	2			②
保健体育	体育	7～8	3	2	2
	保健	2	1	1	
芸術	音楽I	2	①	①	
	音楽II	2			②
	美術I	2	①	①	
	美術II	2			②
	書道I	2	①	①	
外国語	コミュニケーション英語I	3	④		
	コミュニケーション英語II	4			③
	コミュニケーション英語III	4		4	
	リーディング	4			4
	ライティング	4			2

	英語表現Ⅰ	2	2			
	英語表現Ⅱ	4		2～3	2	
家庭	家庭基礎	2	2			
	学校設定科目（一般家庭）	2			②	
情報	社会と情報	2	1	1		
	学校設定科目（情報処理探求）	3			③	
	学校設定教科（表現）		1	1		
	総合的な学習の時間（郷土学・自分探求）		1	1	3	
	ホームルーム活動		1	1	1	
	単位数総計		34	34	34	

備考 ○は選択科目とする。

	英語表現Ⅰ	2	2			
	英語表現Ⅱ	4		2～3		
家庭	家庭基礎	2	2			
	学校設定科目（一般家庭）	2			②	
情報	社会と情報	2	1			
	学校設定科目（情報処理探求）	3			③	
	学校設定教科（表現）		1	1		
	総合的な学習の時間（郷土学・自分探求）		1	1～2	3	
	ホームルーム活動		1	1	1	
	単位数総計		34	34	34	

備考 ○は選択科目とする。

秋田市指定文化財の指定について

次の物件について、指定候補として秋田市文化財保護審議会に諮問したところ、文化財として指定すべきであるとの答申があったため、秋田市指定文化財に指定しようとするものである。

1 指定しようとする物件

- (1) 秋田城跡 S G 4 6 3 沼地跡出土祭祀遺物 一括
- (2) 待入堤の水草群落 5 1, 7 3 5 m²

2 文化財保護審議会における審議の概要

平成26年7月から12月まで3回にわたって開催した秋田市文化財保護審議会において、指定候補物件の調査および審議を行った。その審議結果に基づき、平成27年2月16日開催の審議会に、平成26年度の文化財指定について諮問したところ、指定候補物件2件は、市内に所在する貴重な価値をもつ文化財であることから、秋田市指定文化財に指定すべきであるとの答申がなされたものである。2件の内容は以下のとおりである。

(1) 秋田城跡 S G 4 6 3 沼地跡出土祭祀遺物

秋田城跡 S G 4 6 3 沼地跡出土祭祀遺物は、秋田城跡外郭東門の外側に所在する S G 4 6 3 沼地跡の北西岸辺付近から出土した人面墨書土器や人形、斎串などの一括資料 1 1 6 点である。これらは律令祭祀遺物と呼ばれるもので、都や全国の官衙遺跡で出土例があり、主に祓いや除災を目的に使用されたと考えられる。

都を中心に行われた律令祭祀が、最北の城柵官衙遺跡である秋田城跡でも執り行われたことを明らかにする一方、「目」墨書土器や長胴甕の人面墨書土器が含まれるなど、他ではみられない特徴がある。都とは異なる在地性を併せもった祭祀が行われた可能性が考えられる資料であり、出羽国北部での信仰形態や精神文化等を知る上で、極めて貴重な資料である。

(2) 待入堤の水草群落

待入堤は周囲約 2.9 km の農業用ため池で、高い自然度を有するため池として「日本の重要湿地 5 0 0」に取り上げられている。

平成26年度に実施された調査では、秋田県では既に絶滅したと考えられていたゴマ科のヒシモドキなど県の絶滅危惧種に選定されている7種を含む水草33種のほか、多数の希少種が確認され、水生植物相の多様性が明らかになっている。また、他のため池等で繁殖が顕著な外来水草が確認されておらず、共存する水生昆虫や水生動物を含めた、自然度の高い生態系としての価値も高い。

このような水生植物相の多様性と、周辺の自然環境を含めた安定性をもつことから、秋田市を代表する豊かな生態系を保った植物群落として貴重である。

「秋田城跡 S G 4 6 3 沼地跡出土祭祀遺物」について

- 1 名称 秋田城跡 S G 4 6 3 沼地跡出土祭祀遺物
- 2 員数 一括（116点）
- 3 種別 有形文化財（考古資料）
- 4 所在地 秋田市寺内焼山9番6号
- 5 所有者 秋田市
- 6 年代 8世紀末から9世紀中頃
- 7 説明

本資料は、秋田城跡外郭東門の外側（南東側）に所在する S G 4 6 3 沼地跡（東西約 40 m、南北約 60 m の通称古代沼）の北西岸边付近から出土した祭祀遺物で、人面墨書土器^{じんめんぼくしよ}6点、「目」^{ひとがた}だけを描いた墨書土器^{うまがた}2点、人形・馬形・矢羽根^{やぼね}形の形代類^{がたかたしろ}16点、絵馬状木製品^{いぐし}1点、斎串・刺串^{さしぐし}90点、呪符木簡^{じゆふ}1点の合計116点（註1）である。

これらは律令祭祀遺物と呼ばれるもので、都を始めとした全国の官衙遺跡等で出土例がある。出羽国では、8世紀末頃に形代類等の木製祭祀具を中心とした律令祭祀が導入され、9世紀中頃までに形代類や斎串、人面墨書土器という祭祀具のセットが成立し、9世紀第4四半期頃には、斎串が祭祀遺物の主体になる。

S G 4 6 3 沼地跡は、平面形が「く」字状を呈し、縄文時代中期頃から形成されたスクモ層（泥炭層）が厚く堆積した沼地跡である。北西岸边周辺からは、8世紀末から9世紀第1四半期に位置づけられる「目」墨書土器（資料No.1）が出土していることから、8世紀末頃には S G 4 6 3 沼地跡が祭祀の場として利用されていたと考えられる。また、北西岸边には、岸から3 mほど突出した人工的な張り出しが造成されているが、その年代は、層位や出土遺物等から9世紀第2四半期頃と考えられる。この張り出しの造成によって、当該地が祭祀場として本格的に利用され、9世紀第3四半期頃にかけて盛んに祭祀が行われたものと考えられる。このように、S G 4 6 3 沼地跡の北西岸边周辺は、穢れと共に祓いの道具類を水に流す「流し」^{はらえど}の場（祓所）として、一定期間継続して利用された場所である。

S G 4 6 3 沼地跡が祓所として整備されるきっかけとしては、秋田城内外に大きな被害を与えた天長7年（830）の出羽国大地震が考えられる。また、嘉祥3年（850）には、全国に先駆けて陰陽師^{おんみょうじ}1名が官吏の定員^{かんり}に追加される中、同年、再び大地震が起きるなど天災が重なっており、地鎮や除災を目的とした祭祀を陰陽師が執り行っていたことも考えられる。また、呪符木簡（資料No.116）からも、陰陽道による祭祀が想定される。

本資料は、都を中心に行われた律令祭祀が、最北の城柵官衙遺跡である秋田城

跡でも執り行われたことを明らかにするものである。一方で、本資料には「目」墨書土器や長胴甕の人面墨書土器が含まれること、本資料に伴って多量の土器類や曲物・挽物皿等の木製品が出土していることは、他地域の官衙遺跡ではみられない特徴であり、都とは異なる在地性を併せもった祭祀が、秋田城跡で執り行われていた可能性が考えられる。

以上のことから、本資料は、律令祭祀の地方への拡がり、都では見られない要素を伴う出羽国北部での信仰形態や精神文化等を知る上で、極めて貴重である。

註 1

人面墨書土器は、土器の中に息を吹き込むことで穢れなどを移し、水に流して祓うために用いられた。都で盛んに行われていた^{まじな}呪い^{まじな}の方法であり、出羽国では、横代遺跡や俵田遺跡（山形県）等で、8世紀末頃から9世紀第3四半期にかけての資料が確認されている。

人形・馬形・矢羽根形は、人や馬、矢羽根の形をした薄い板状の木製品で、形代や絵馬として使用されたと考えられる。人形は、目や鼻など人面を確認できるものもあり、大部分は腕や足などが欠損している。馬形は、馬の頭や尾などを抽象的に表現している。矢羽根形は、絵馬として祭祀に用いられたものと考えられる。

斎串は細長い串状の木製品である。御幣等を挟み込めるよう上端部に切り込みがあり、下端部は地面に突き刺すために尖らせている。刺串は上端部に切り込み加工がない串状の木製品である。

絵馬状木製品は、中央上部に穴が開いた板状の木製品で、絵馬として祭祀に用いられたものと考えられる。

呪符木簡は、小さい四角の印（付籙）と「如律令カ」の呪文が墨書されたもので、^{おんみょうどう}陰陽道^{おんみょうどう}関係の呪術に使用されたと考えられる。

参考文献

秋田市『秋田市史』第7巻 古代史料編 2003. 3

秋田市『秋田市史』第1巻 先史・古代通史編 2004. 3

伊藤武士「出羽国域における古代祭祀—木製祭祀具を中心として—」『日本海域における古代の祭祀』2007. 10

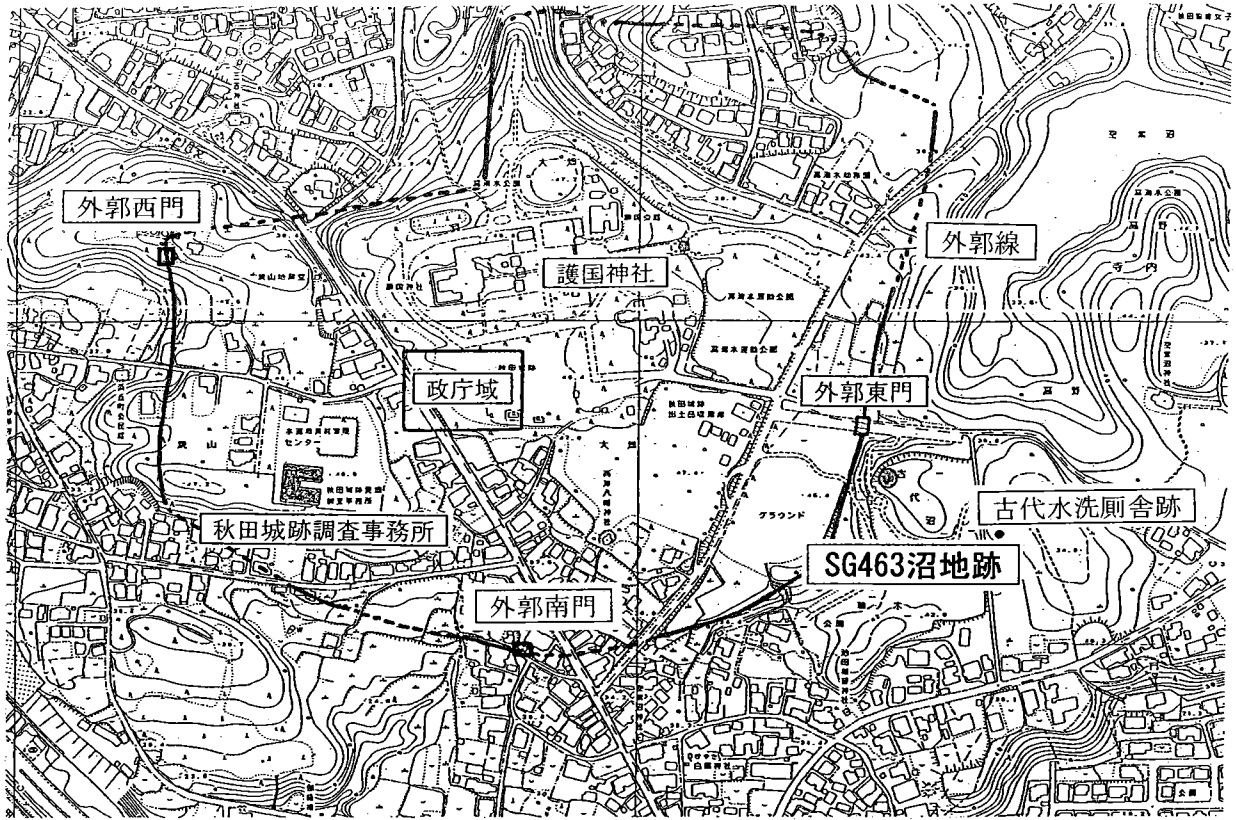
秋田市教育委員会・秋田城跡調査事務所『秋田城跡Ⅱ—鶴ノ木地区—』2008. 3

秋田城跡S G 4 6 3 沼地跡出土祭祀遺物 一覽表

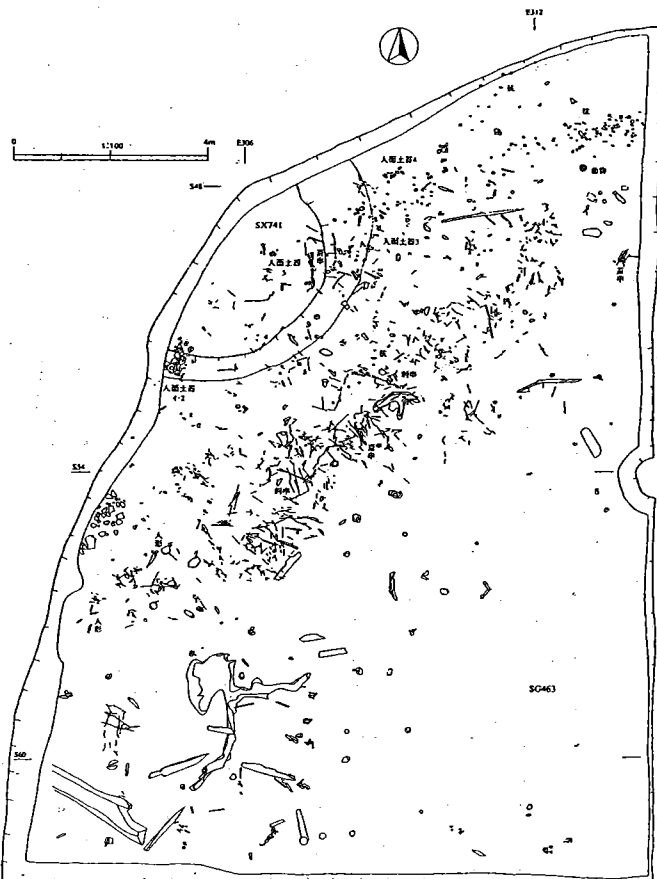
No.	種別	法量(cm)		
01	「目」墨書土器	口径12	器高4.1	底径5.5
02	人面墨書土器	口径14.1	器高13.8	底径8.9
03	「目」墨書土器	口径15	器高不明	底径不明
04	人面墨書土器	口径13.5	器高13	底径7.1
05	人面墨書土器	口径12.8	器高13.9	底径7.1
06	人面墨書土器	口径18.8	器高23.6	底径8.9
07	人面墨書土器	口径21	器高22.6	底径9.1
08	人面墨書土器	口径14	器高9.5	底径6
09	人形	幅5.9	長さ36以上	厚さ0.7
10	人形	幅2.9	長さ20.5	厚さ0.3
11	人形	幅3.0	長さ17.5	厚さ0.3
12	人形	幅2.7	長さ15.8	厚さ0.4
13	人形	幅2.7	長さ12.8以上	厚さ0.3
14	人形	幅3.0	長さ11.5以上	厚さ0.4
15	人形	幅2.7以上	長さ7.9以上	厚さ0.4
16	馬形	幅2.5	長さ16.8	厚さ0.5
17	絵馬状木製品	幅16.3	長さ9.8	厚さ1.0
18	矢羽根形	幅4.4	長さ8.7	厚さ0.6
19	矢羽根形	幅5.0	長さ10.8	厚さ0.5
20	矢羽根形	幅2.1以上	長さ9.8	厚さ0.4
21	矢羽根形	幅3.3以上	長さ12.7	厚さ0.5
22	矢羽根形	幅3.7以上	長さ13.2	厚さ0.5
23	矢羽根形	幅3.8以上	長さ13.4	厚さ0.5
24	矢羽根形	幅2.5以上	長さ9.12	厚さ0.8
25	矢羽根形	幅1.2	長さ11.3	厚さ0.2
26	斎串・刺串	幅2.8	長さ23.8以上	厚さ0.4
27	斎串・刺串	幅2.5	長さ22.3以上	厚さ0.5
28	斎串・刺串	幅2.4	長さ19.2以上	厚さ0.4
29	斎串・刺串	幅1.6	長さ16.7	厚さ0.5
30	斎串・刺串	幅1.9	長さ14.1	厚さ0.1
31	斎串・刺串	幅2.5	長さ16.6	厚さ0.5
32	斎串・刺串	幅2.6	長さ11.2以上	厚さ0.4
33	斎串・刺串	幅0.8	長さ29.8	厚さ0.7
34	斎串・刺串	幅0.8	長さ26.8	厚さ0.7
35	斎串・刺串	幅0.7	長さ26.7	厚さ0.7
36	斎串・刺串	幅0.9	長さ27.3	厚さ0.6
37	斎串・刺串	幅0.6	長さ27	厚さ0.8
38	斎串・刺串	幅0.6	長さ28.7	厚さ0.5
39	斎串・刺串	幅0.5	長さ26.8	厚さ0.7
40	斎串・刺串	幅0.7	長さ27.0	厚さ0.7
41	斎串・刺串	幅0.9	長さ26.0	厚さ1.2
42	斎串・刺串	幅1.0	長さ27.5	厚さ0.8
43	斎串・刺串	幅0.9	長さ25.1以上	厚さ1.1
44	斎串・刺串	幅0.8	長さ23.9	厚さ0.5
45	斎串・刺串	幅0.7	長さ22.1	厚さ0.5
46	斎串・刺串	幅0.6	長さ23.1	厚さ0.4
47	斎串・刺串	幅0.8	長さ23.5	厚さ0.8
48	斎串・刺串	幅1.1	長さ22.8	厚さ0.7
49	斎串・刺串	幅0.9	長さ22.9	厚さ0.9
50	斎串・刺串	幅0.7	長さ20.7	厚さ0.6
51	斎串・刺串	幅0.7	長さ21.0	厚さ0.5
52	斎串・刺串	幅0.8	長さ21.1	厚さ0.6
53	斎串・刺串	幅0.9	長さ21.5	長さ0.8
54	斎串・刺串	幅0.8	長さ21.0以上	厚さ0.6
55	斎串・刺串	幅0.9	長さ20.0	厚さ1.1
56	斎串・刺串	幅0.7	長さ20.8	厚さ0.4
57	斎串・刺串	幅0.7	長さ13.6	厚さ0.5
58	斎串・刺串	幅0.8	長さ13.6	厚さ0.6
59	斎串・刺串	幅0.6	長さ13.26	厚さ0.5
60	斎串・刺串	幅1.3	長さ19.0	厚さ0.6
61	斎串・刺串	幅1.2	長さ19.2以上	厚さ0.6
62	斎串・刺串	幅0.8	長さ19.1	厚さ0.3

秋田城跡S G 4 6 3 沼地跡出土祭祀遺物 一覽表

No.	種別	法量(cm)		
		幅	長さ	厚さ
63	齋串・刺串	幅0.9	長さ18.8以上	厚さ0.6
64	齋串・刺串	幅0.5	長さ18.4	厚さ0.8
65	齋串・刺串	幅0.9	長さ18.1	厚さ0.8
66	齋串・刺串	幅0.9	長さ17.0以上	厚さ5
67	齋串・刺串	幅0.8	長さ16.6	厚さ0.7
68	齋串・刺串	幅0.8	長さ16.1	厚さ0.4
69	齋串・刺串	幅0.8	長さ11.9	厚さ0.5
70	齋串・刺串	幅1.0	長さ0.3以上	厚さ0.5
71	齋串・刺串	幅0.9	長さ10.1	厚さ0.5
72	齋串・刺串	幅1.2	長さ9.5	長さ0.7
73	齋串・刺串	幅1.9	長さ71以上	厚さ0.3
74	齋串・刺串	幅1.5	長さ70.5以上	厚さ0.4
75	齋串・刺串	幅1.4	長さ69.1以上	厚さ0.3
76	齋串・刺串	幅1.1	長さ36.6	厚さ0.3
77	齋串・刺串	幅1.0	長さ30.9	厚さ0.4
78	齋串・刺串	幅1.5	長さ30.2	厚さ0.5
79	齋串・刺串	幅1.5	長さ27.5	厚さ0.51
80	齋串・刺串	幅1.5	長さ27.9	厚さ0.5
81	齋串・刺串	幅1.5	長さ28.2	厚さ0.5
82	齋串・刺串	幅1.5	長さ27.5	厚さ0.6
83	齋串・刺串	幅1.3	長さ22.9	厚さ0.3
84	齋串・刺串	幅1.6	長さ14.9	厚さ0.3
85	齋串・刺串	幅0.8	長さ10.5	厚さ0.3
86	齋串・刺串	幅1.5	長さ7.2以上	厚さ0.5
87	齋串・刺串	幅0.9	長さ47.1	厚さ0.4
88	齋串・刺串	幅0.6	長さ40.6	厚さ0.5
89	齋串・刺串	幅0.8	長さ43.4	厚さ0.5
90	齋串・刺串	幅1.0	長さ34.6	厚さ0.7
91	齋串・刺串	幅1.2	長さ31.0以上	厚さ0.7
92	齋串・刺串	幅0.7	長さ35.6	厚さ0.9
93	齋串・刺串	幅1.2	長さ31.1	厚さ0.7
94	齋串・刺串	幅0.9	長さ29.5	厚さ0.7
95	齋串・刺串	幅1.4	長さ30.1	厚さ0.6
96	齋串・刺串	幅1.3	長さ55.2	厚さ0.9
97	齋串・刺串	幅2.3	長さ51.2	厚さ1.1
98	齋串・刺串	幅1.0	長さ40.3	厚さ1.4
99	齋串・刺串	幅1.5	長さ31.9	厚さ0.6
100	齋串・刺串	幅1.0	長さ32.8	厚さ0.7
101	齋串・刺串	幅0.8	長さ29.4	厚さ0.8
102	齋串・刺串	幅0.7	長さ27.1	厚さ0.6
103	齋串・刺串	幅0.9	長さ26.61	厚さ0.5
104	齋串・刺串	幅1.6	長さ25.3	厚さ0.7
105	齋串・刺串	幅2.0	長さ22.7	厚さ0.7
106	齋串・刺串	幅0.9	長さ18.1	厚さ0.4
107	齋串・刺串	幅0.5	長さ16.1	厚さ0.4
108	齋串・刺串	幅0.91	長さ15.4	厚さ0.5
109	齋串・刺串	幅1.2	長さ11.6	厚さ0.2
110	齋串・刺串	幅0.8	長さ8.6	厚さ0.4
111	齋串・刺串	幅1.1	長さ21.3	厚さ0.81
112	齋串・刺串	幅2.4	長さ25.7	厚さ0.7
113	齋串・刺串	幅1.4	長さ34.5	厚さ1.2
114	齋串・刺串	幅2.3	長さ39.9	厚さ1.9
115	齋串・刺串	幅1.9	長さ47.0	厚さ1.5
116	呪符木簡	幅3.1	長さ34.0以上	厚さ0.5



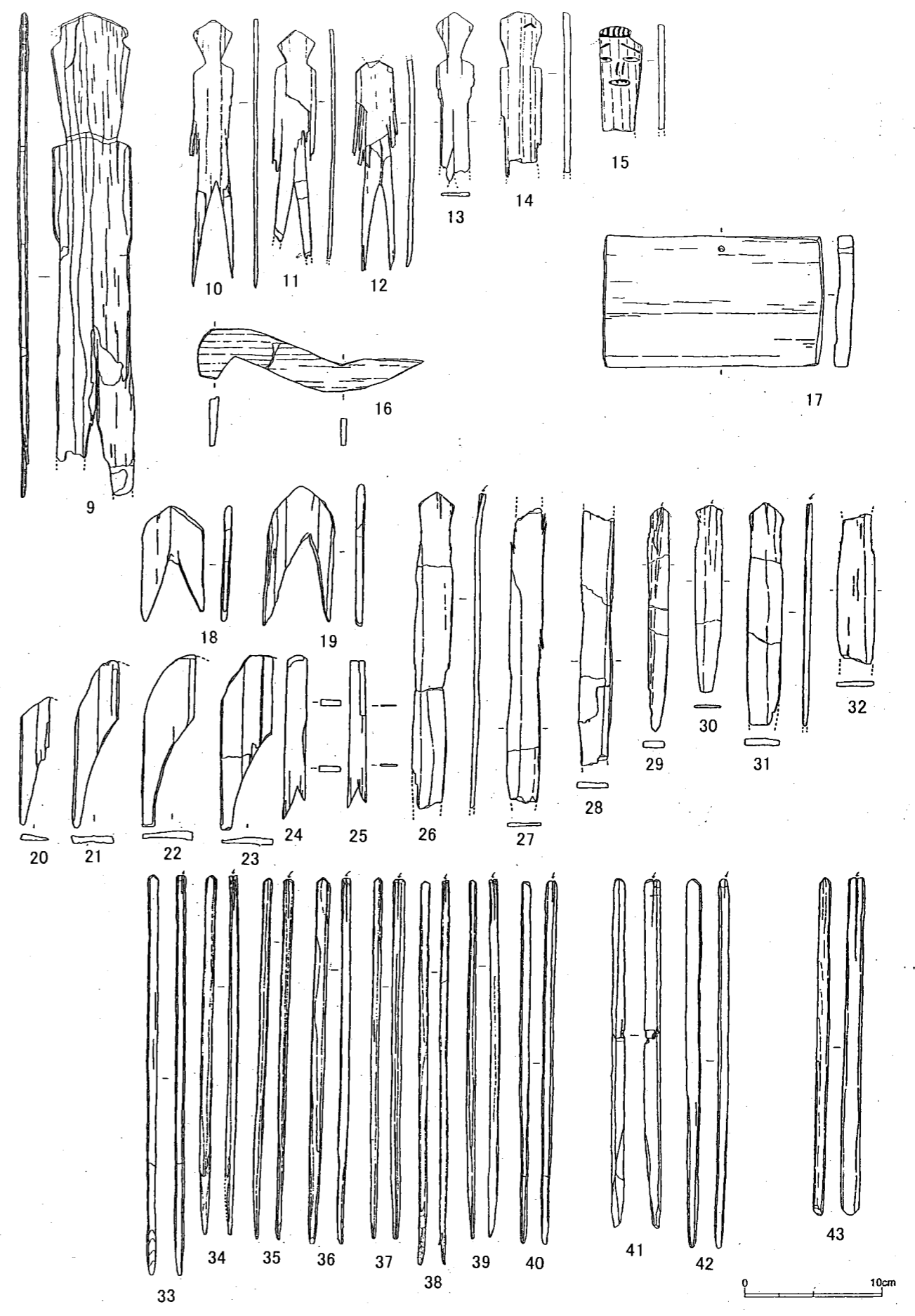
第1図 秋田城跡SG463沼地跡位置図



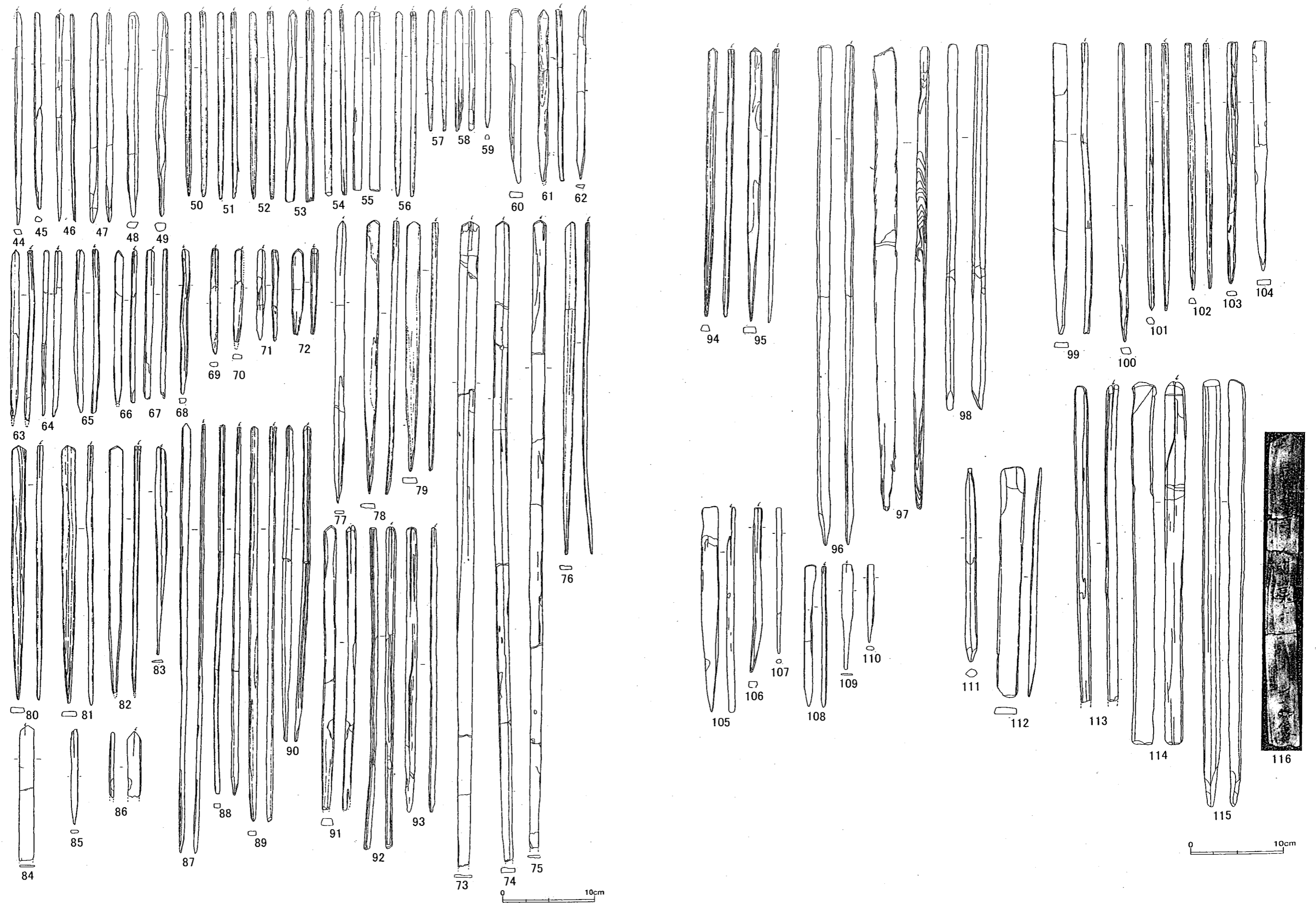
第3図 秋田城跡SG463沼地跡
北西岸祭祀遺構



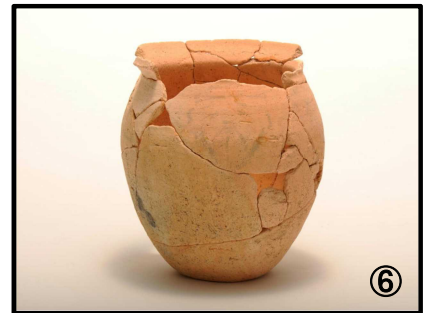
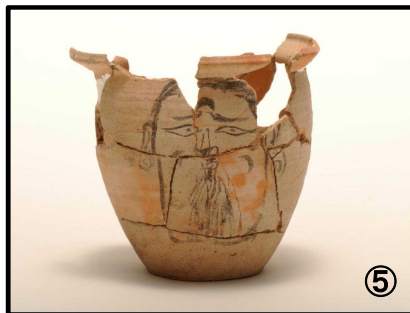
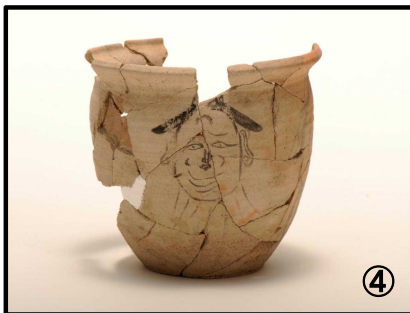
第2図
秋田城跡SG463沼地跡



第4図 秋田城跡SG463沼地跡出土祭祀遺物1

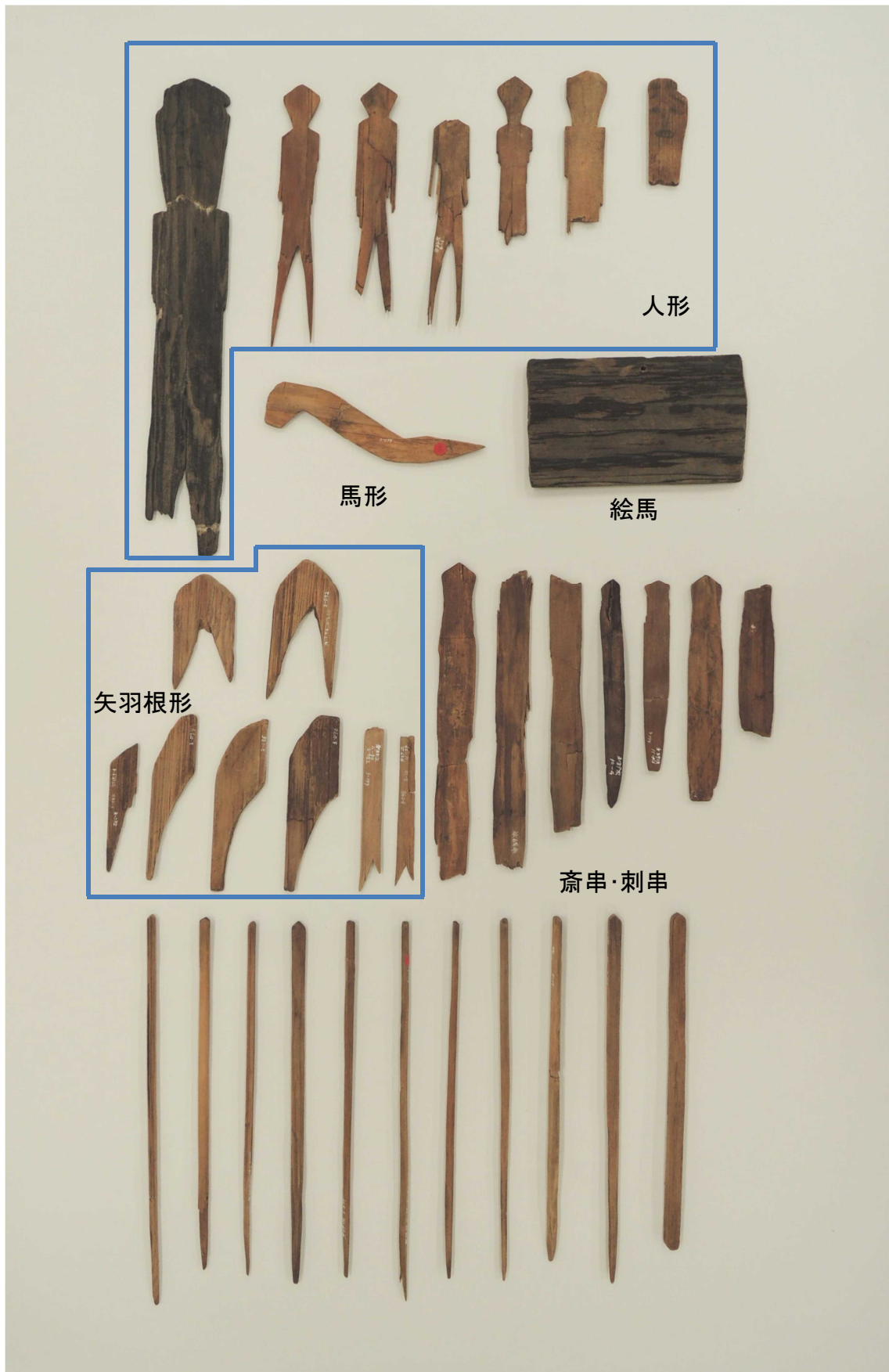


第5図 秋田城跡SG463沼地跡出土祭祀遺物2
- 12 -

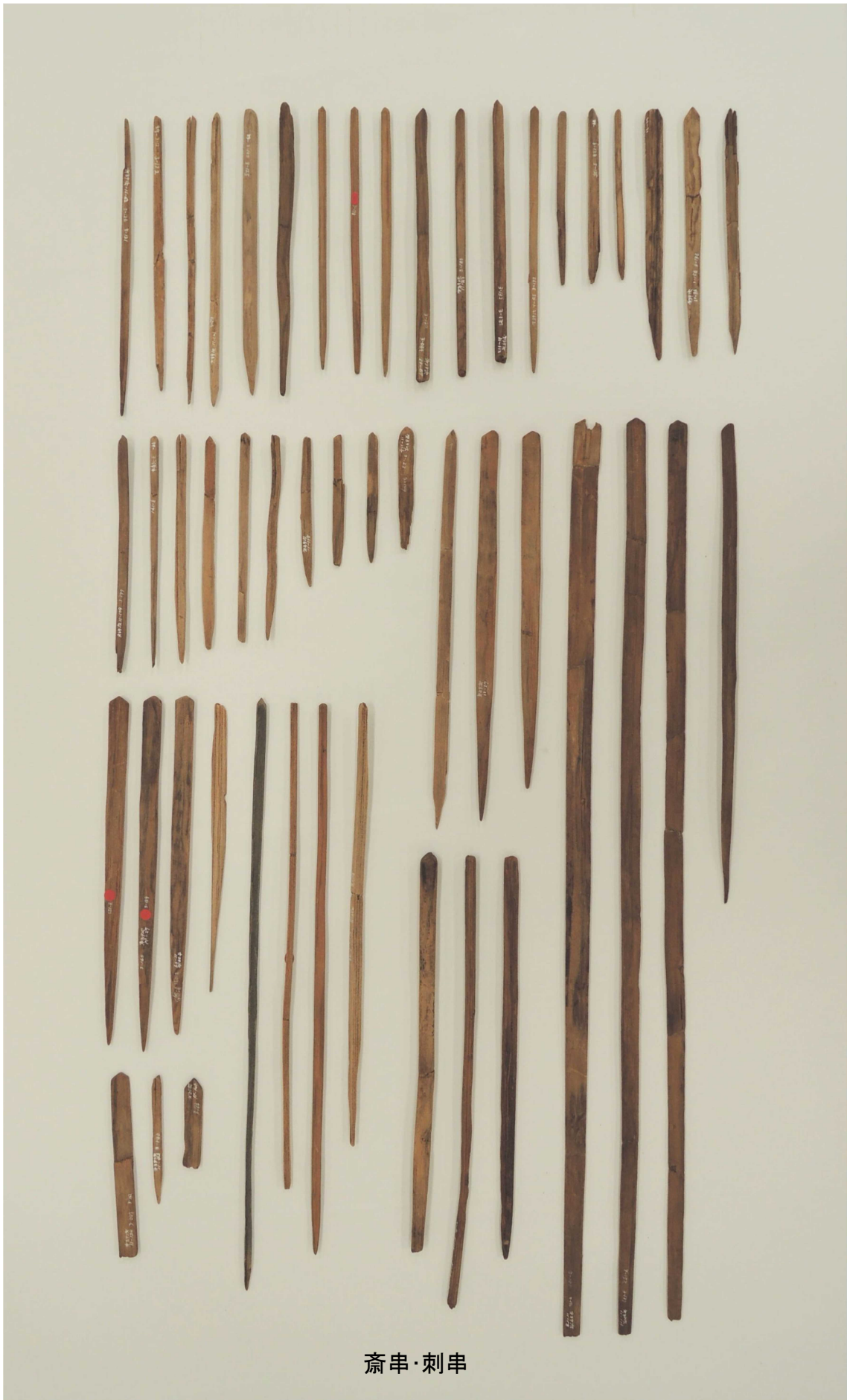


人面墨書土器：②、④～⑧
「目」墨書土器：①・③

秋田城跡 S G 4 6 3 沼地跡出土祭祀遺物 ①



秋田城跡 S G 4 6 3 沼地跡出土祭祀遺物 ②



斎串・刺串

秋田城跡 S G 4 6 3 沼地跡出土祭祀遺物 ③



呪符木筒

斎串・刺串

秋田城跡SG463沼地跡出土祭祀遺物 ④

「待入堤の水群落草」について

- 1 名 称 まちいりづつみ みずくさ 待入堤の水草群落
- 2 面 積 51,735㎡
- 3 種 別 天然記念物
- 4 所在地 金足高岡字井内沢57番
- 5 所有者 秋田市
- 6 管理者 新城川土地改良区
- 7 説 明

待入堤は周囲約2.9kmの農業用ため池で、水域には多様な水草植生が成立している。本水域は高い自然度を有するため池として国の「日本の重要湿地500（註1）」に取り上げられており、水生植物相の多様性および群落の安定性が確認される豊かな生態系として注目されている。

待入堤の水生植物の中で、ヒシモドキ(ゴマ科)は環境省レッドリスト(2007)で国の絶滅危惧ⅠB類に位置づけられ、秋田県内では既に絶滅したと考えられていたもので20数年ぶりに再発見された植物である。かつては全国の湖沼やため池などで確認できる水草であったが、生育地の埋め立てや水質汚濁の進行により近年では絶滅のおそれの極めて高い希少種となっている。秋田県版RDB（註2）ではごく近い将来に野生での絶滅の危険性が極めて高い絶滅危惧ⅠA類（CR）に位置づけられており、待入堤での面的な生育は県内では唯一のものとしてこの水域の自然度の高さを象徴しているものである。また、待入堤のヒシモドキは日本海側における北限と見られ、植物分布の面でも高い価値をもつと言える。

平成26年度に実施された調査では秋田県の絶滅危惧種に選定されている7種を含む水草33種のほか、多数の希少種が確認された。県版RDBでⅠA類に次いで絶滅の危険性が高い絶滅危惧ⅠB類（EN）に位置づけられるヒメビシ（ヒシ科）やオオトリゲモ（イバラモ科）、絶滅の危険性が增大している絶滅危惧Ⅱ類（VU）のオオタヌキモ（タヌキモ科）、存続基盤が脆弱な準絶滅危惧（NT）のマルバオモダカ（オモダカ科）、ミズオオバコ（トチカガミ科）、ホッスモ（イバラモ科）を始め、多くの抽水植物・浮葉植物・沈水植物が確認されており、水生植物相の多様性を示している。

また、本水域にはこれら一般的に言われる水草以外にも、新たな考え方に基づく広義の水草や水辺環境を形作る湿生植物、大型藻類として良好な水域環境を示すシャジクモ類が確認されている。さらに他のため池等で繁殖が顕著な外来水草が確認されておらず、本水草群落がもつ自然度の高さを際立たせている。さらに、これらの水生植物と共存する水生昆虫や水生動物が生息しており、豊かな生態系

を保った遺伝子プールとしての価値も高いと言える。

このような豊かで安定した生態系は、他のため池では既に失われていることが多く、周辺からの農薬や汚染物質の流入が少ない待入堤特有の自然環境によって守られてきたものである。将来にわたって適正な管理を続けることにより持続的な環境保全が図られることが期待される。

このように、待入堤の水草群落はヒシモドキに代表される絶滅危惧種をはじめとした水生植物相の多様性と、周辺の自然環境を含めた安定性をもつことから、秋田市を代表する豊かな生態系を保った植物群落として貴重である。

註1 環境省（2002）において、「秋田平野湖沼群」の福田堤として取り上げられている。

註2 秋田県の絶滅のおそれのある野生生物－秋田県版レッドデータブック2014（維管束植物）。

参考文献

角野康郎 1994 日本水草図鑑

角野康郎 2014 ネイチャーガイド 日本の水草

秋田県生活環境部自然保護課 2014 秋田県の絶滅のおそれのある野生生物－秋田県版レッドデータブック2014－維管束植物

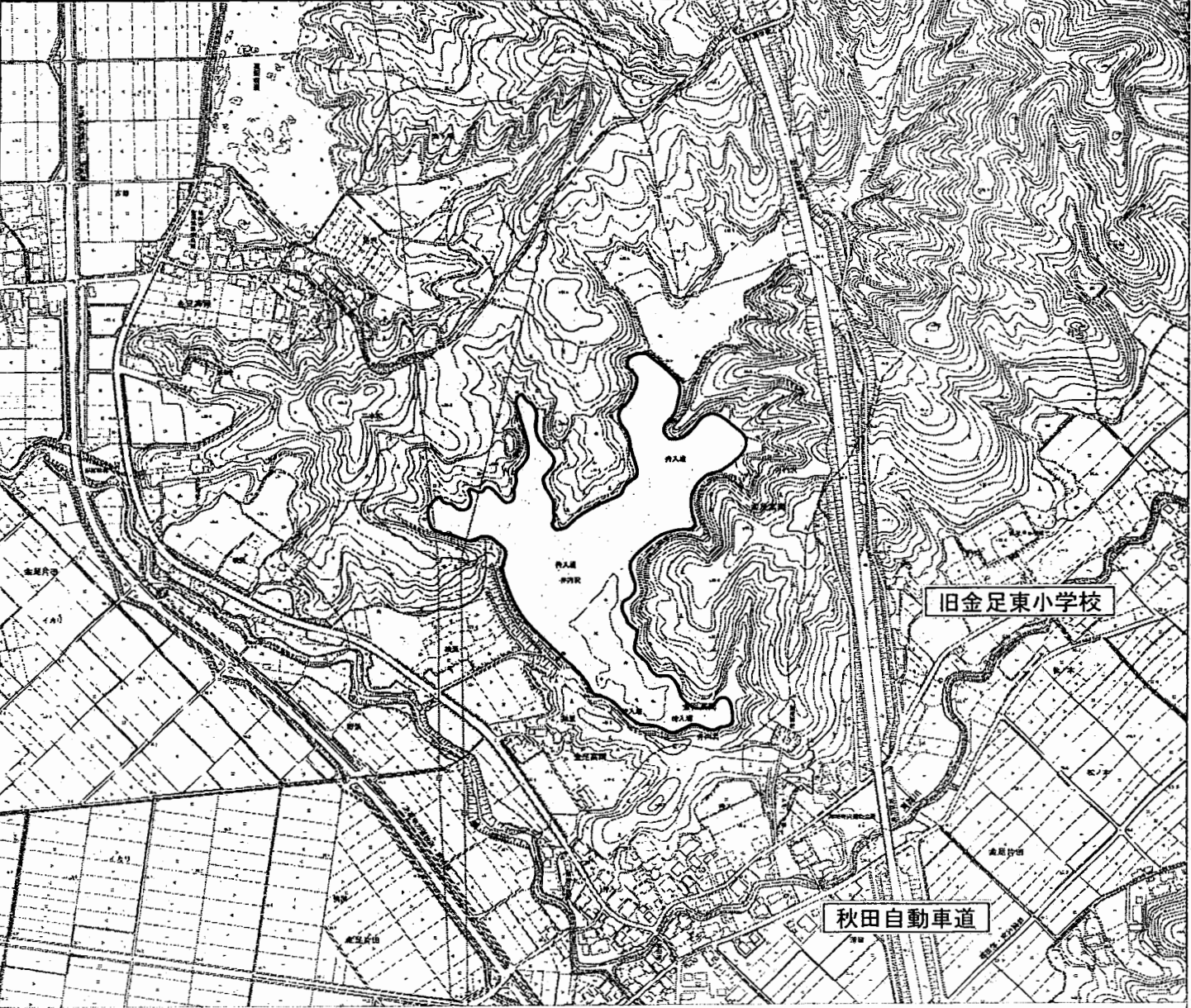
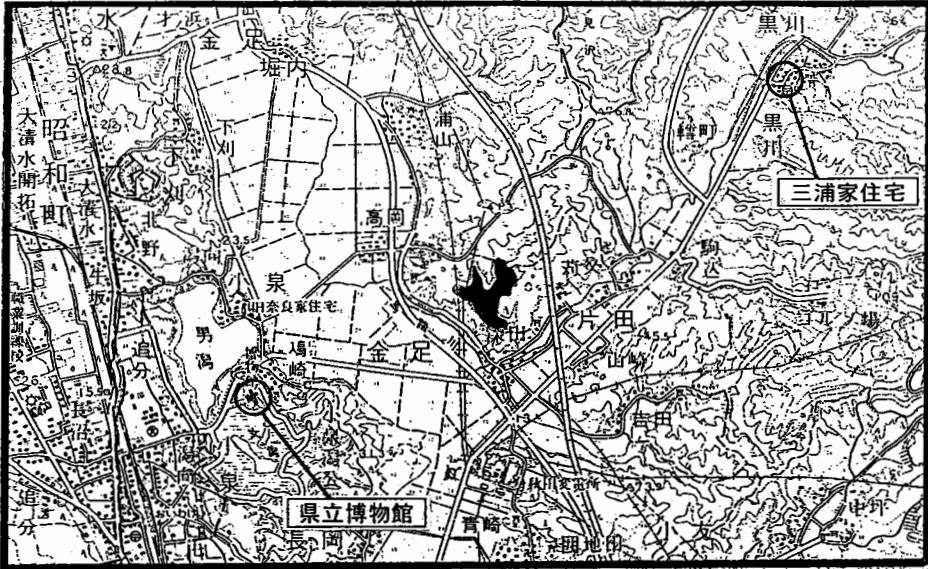
待入堤の植物相リスト

	NO.	科名	和名	RDB		過去 標本	県メ ッシュ数	標本メ ッシュ数	2014年調査		標本 点数	
				県	国				写真	確認		
A	1	スイレン科	ジュンサイ				32	66	○	標本	1	
	2	スイレン科	ハス	逸出			11	31	○	標本	2	産地新
	3	スイレン科	ヒツジゲサ				65	96	○	標本	1	
	4	ヒン科	ヒメビシ	EN	VU	1998	7	5		×	(1)	
	5	ヒン科	ヒシ			1998	49	76		標本	1	
	6	アカハナ科	ミスユキバナ				23	23		標本	2	
	7	アリトウグサ科	フサモ				17	49		標本	3	産地新
	8	ミツガシワ科	ミツガシワ				62	13		標本	1	産地新
	9	ヒンモトキ科	ヒンモトキ	CR	EN	2004	1	3		標本	4	
	10	タヌキモ科	タヌキモ	留意	NT	2000	20	35	○	標本	7	
	11	タヌキモ科	オオタヌキモ	VU	NT		0	5		標本	1	
	12	オモダカ科	ヘラオモダカ				153	114	○	標本	1	
	13	オモダカ科	マルバオモダカ	NT	VU		13	18		標本	3	
	14	オモダカ科	オモダカ				100	103	○	標本	1	
	15	トチカガミ科	クロモ				11	37		標本	5	
	16	トチカガミ科	ミスオオハコ	NT	VU		6	13	○	標本	3	
	17	ヒルムシロ科	オヒルムシロ				21	53		標本	1	産地新
	18	ヒルムシロ科	ホソバミスヒキモ			1998	17	82		標本	1	
	19	イハラモ科	ホッスモ	NT			2	16		標本	5	
	20	イハラモ科	オオトリゲモ	EN		2000	2	3		標本	2	
	21	ミスアオイ科	コナキ				85	105	○	標本	1	
	22	アヤメ科	キシノウヅ	帰化			48	101		標本	1	
	23	ツユクサ科	イホクサ				114	62	○	目視	0	
	24	イネ科	アシカキ			1998	16	47	○	目視	0	
	25	イネ科	ウキシハ			1978	15	8		標本	1	産地新
	26	イネ科	ヨシ				380			目視	0	
	27	イネ科	マコモ				96	113	○	目視	0	
	28	ミクリ科	ミクリ	留意	NT		29	35		標本	2	
	29	ガマ科	ヒメガマ				27	47	○	標本	1	
	30	カヤツリグサ科	クログワイ				35	44	○	標本	4	
	31	カヤツリグサ科	ウキヤガラ			2005	49	50		標本	2	
	32	カヤツリグサ科	フトイ				41	43		標本	3	
	33	カヤツリグサ科	カンカレイ			2005	47	55	○	標本	1	
B	1	イネ科	チコササ						標本	1		
	2	カヤツリグサ科	アセースケ						標本	2		
	3	カヤツリグサ科	ハリイ						標本	1		
	4	カヤツリグサ科	サンカクホタルイ						標本	3	県新	
C	1		ミスオトクリ						標本	2		
	2		エゾミソハキ						標本	1		
	3		クサレダマ						標本	2		
	4		ヒメシロネ						標本	2		
	5		サワヒヨドリ						標本	2		
	6		コアセガヤツリ						標本	4		
	7		アブラカヤ						標本	2		
D	1		シャジクモ						標本	3		
	2		フラスコモ属sp.						標本	10		

- A 秋田県水草分布図の掲載種
- B 日本の水草2014で追加された広義の水草
- C 水草とされていない水辺の植物
- D シャジクモ科

県メッシュ数:「秋田県2000秋田県植物分布図」に
記録されている分布メッシュ数
標本メッシュ数:「高田2010-12秋田県水草分布図」に
記録されている分布メッシュ数

A 水草	今回の採集	28	
	今回の目視	4	
	以前の標本	1	33
B	広義の水草	4	
C	水辺の植物	7	
D	シャジクモ類	2	
確認された植物		計	46



待入堤位置図



待入堤の水草群落



待入堤近景（西から）



待入堤近景（南西から）



待入堤遠景（西から）
※奥の堰堤の先にため池がある



ヒシモドキ (上) とヒシ (下)



ヒシモドキ (CR)



オオトリゲモ (EN)



マルバオモダカ (NT)



オオタヌキモ (VU)



オオタヌキモの花

秋田県版RDBにおけるカテゴリー (一部を抜粋)

- ・絶滅危惧ⅠA類(CR) : ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
- ・絶滅危惧ⅠB類(EN) : 絶滅危惧ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- ・絶滅危惧Ⅱ類(VU) : 絶滅の危険が増大している種
- ・準絶滅危惧(NT) : 存続基板が脆弱な種